

# 令和5年度自己評価等

## 学校関係者評価書

### I 目的

### II 学校関係者評価

### III 学校関係者評価委員会

### IV 実施

#### 令和5年度学校関係者評価委員会

- 1 理事長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 委員長・副議長選出
- 4 議題
- 5 経過報告
- 6 令和5年度学校の現状と自己評価結果報告
- 7 自己評価委に対する意見
- 8 学校関係者評価のまとめ
- 9 自己評価および学校関係者の公表
- 10 閉会

#### 令和5年度第1回教育課程編成委員会

- 1 理事長挨拶
- 2 開会挨拶
- 3 経過報告
- 4 各学科の現状
- 5 外部委員会による質疑応答
- 6 業界の現状と質疑応答
- 6 次回委員会開催連絡
- 7 閉会

#### 令和5年度第2回教育課程編成委員会

- 1 理事長挨拶
- 2 開会挨拶
- 3 経過報告
- 4 各学科の報告
- 5 外部委員による質疑応答
- 6 業界の報告と質疑応答
- 7 次回委員会開催連絡
- 8 閉会

### V 財務

福岡国土建設専門学校  
学校関係者評価書  
(令和5年度)

令和6年2月1日

学校関係者評価委員会

## I 目的

学生が教育理念、教育目的に沿って実践的な職業教育を受けられるよう、学校関係者が評価を行うことで教育内容の改善や自己評価の透明性・客観性を高める。

また、学校関係者からの助言を踏まえたうえで継続的な学校運営に活かすこととする。

## II 学校関係者評価

学生が就職する企業・卒業生・高校・地域団体等により学校関係者を選定し、学校運営について学校自己評価を行い結果について外部評価を行った。

また、教育活動については、教育課程編成委員会を行い、報告内容を基に得られた助言を積極的に取り入れより実践的な人材の育成に努めた。なお、評価は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方針が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか
- ・教育課程編成委員会の委員会報告が適切かどうか

## III 学校関係者評価委員会

### 委員

横山 巖 一般社団法人福岡県測量設計コンサルタンツ協会 会長

大塚 憲一 株式会社大高開発 代表取締役

川崎 信三 大正測量設計株式会社 代表取締役

外園 令明 外園税理士事務所 所長

永沼 真紀 学校法人嶋田学園飯塚高等学校 校長

山本 旗年 学校法人嶋田学園福岡国土建設専門学校同窓会 会長  
公益財団法人日本測量協会 九州支部長  
株式会社サンコンサル 取締役会長

## IV 実施

令和5年度学校関係者評価委員会が実施された。

# 令和5年度学校関係者評価委員会議事録

開催日時 令和5年8月17日木曜日 15時から16時30分まで

会場 学校法人嶋田学園 福岡国土建設専門学校 多目的ホール

出席者 理事長 嶋田 吉勝

横山 巖 一般社団法人福岡県測量設計コンサルタンツ協会 会長

大塚 憲一 株式会社大高開発 代表取締役

川崎 信三 大正測量設計株式会社 元代表取締役

永沼 真紀 学校法人嶋田学園飯塚高等学校 校長

山本 旗年 学校法人嶋田学園福岡国土建設専門学校同窓会 会長

公益財団法人日本測量協会 九州支部長

株式会社サンコンサル 取締役会長

説明 谷口 茂敏 校長

司会 嶋田 吉敬 副校長

記録 瀬戸口慶文 事務長

会次第

## 1 理事長挨拶

お盆のご多用な中、また集中豪雨等天候不良もあった中ご足労いただいた皆さんに感謝申し上げます。本校は50周年を迎え、5月に学生対象の式典を開催し、6月の同窓会では150名を超える卒業生にお会いすることが出来た。頑張っている姿を見てうれしい気持ちと同時に大きな責任を改めて感じる事が出来た。11月4日には来賓の方をお迎えする記念式典を行うためご参加をお願いしたい。また校長の交代という変化がある中、今後の飛躍のためにも皆さんのご意見、お力添えをいただきたい。

## 2 校長挨拶

暑い中ご出席いただき感謝申し上げます。7月1日に拝任し国専の発展、充実のために尽力する所存である。そのためにも同窓会、関係各位の皆様のご協力が必要であり本委員会でも皆様の屈託のないご意見をいただいて、今後の改善につなげていきたい。

## 3 委員長選出

本校同窓会長 山本旗年 氏を委員長に選出する。また進行は本校副校長 嶋田 吉敬が行った。

## 4 経過報告

- (1) 令和4年度学校関係者評価委員会経過報告  
本校多目的ホールにて令和4年8月17日に開催。  
評価としては全体として「ほぼ適切である」として令和5年2月にホームページに公開した。
- (2) 令和5年度第1回教育課程編成委員会報告  
同じく本校多目的ホールにて令和5年5月17日に開催。  
質疑応答では「女性の業界進出」「先端設備」「好調な募集活動の要因」などが上がり意見交換を行った。

## 5 令和4年度学校の現状と自己評価結果報告

- (1) 令和4年度福岡国土建設専門学校現況報告

220名の定員に対し232名が在籍。

国際情報ビジネス科に77名が入学したことや、都市環境設計科の入学生が前年比10名増えた。就職については、測量会社に36名、コンサルタント・土木建設会社に28名、国家公務員2名、地方公務員7名。国際情報ビジネス科からの就職は50名で、ホテル・飲食・建設など多岐にわたる。

50周年を迎え、昨年度末には初の海外大学との連携となる、ブータン王立大学ジグメナムゲル工科大学との学術協定が締結された。同校の測量学部で学んだ学生向けの奨学金制度を開設。本校日本語学科・測量技術情報科での学びを支援し日本の測量業界での活躍・母国と日本の関係強化・発展に寄与するような人材の育成を目指す。

ドローンに関する取り組みとして、昨年国土交通省認定の登録講習機関である一般社団法人DPCA（ディピカ）に加盟した。8月初めに2等無人航空機国家資格講習を都市環境設計科の学生7名と本校職員2名に実施。全員が実技講習の認定をいただき、本校初のドローン国家資格取得者を輩出すべく学科試験に臨む。

引き続き従来の測量教育を軸に、本校独自の国際性、先端技術教育の拡充を通して更なる学校の発展に取り組んでいく。

- (2) 学校自己評価結果報告

令和5年6月1日から令和5年6月16日までを実施期間とし、11の大項目、63の小項目について専任教員13名が4段階で評価。

評価点は「適切」4点、「ほぼ適切」3点、「やや適切」2点、「不適切」1点とする。前回いただいたご意見を踏まえ評価点の表記を小数点2位までの数値を記した。各大項目は2.51～3.43で推移しており、やや適切～ほぼ適切という評価。

特に高評価は7の“学生受け入れ・募集について”令和5年度の日本人入学者は81名で平成17年以降最多となり広報の新しい取り組み、教育活動の成果が評価につながっている。評価が低かったのが6の“教育環境・学生支援”だった。校舎経年劣化への対応、防災体制の改善、職員・学生向けの業務・教育環境のIT化が課題として挙げられた。Gigaスクール構想の発表から

全教室電子黒板化等設備拡充を進めてきたが、今後もさらに対応を進める。防災体制については、留学生向けの母国語のマニュアル作成等を検討する。

## 6 自己評価等に対する意見

評価平均点は高くても改善希望の意見があるなど、評価点と出てきた意見についてのとらえ方はどうしているか？

- ・評価点が高いから問題が無い、低いから問題があるではなく一つ一つの意見を確認し、おおよそ満足できているものでもまだ改善の余地があるかどうか等検討している。

学生からの評価も行われているのか？

- ・授業評価として、全講師を対象に5段階評価を行い授業内容の見直しを行っている。

職員からの率直な意見が出ており、発言のしやすい職場環境だと感じた。

## 7 学校関係者評価のまとめ

- (1) 自己評価の内容が適切かどうか
- (2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- (3) 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- (4) 学校運営の改善に向けた委員会報告が適切かどうか
- (5) 教育編成委員会の委員会報告が適切かどうか

以上5項目について委員の皆さんの意見も踏まえ“ほぼ適切”であると問い、審議の結果、全会一致で“ほぼ適切”とした。

## 8 自己評価及び学校関係者評価の公表

令和6年2月1日を目途のホームページ上に公開する。

## 9 閉会

次回は令和6年8月21日の開催予定とし閉会する。

# 令和5年度第1回教育課程編成委員会議事録

開催日時 令和5年5月17日水曜日 15時から16時30分まで

会場 学校法人嶋田学園福岡国土建設専門学校 多目的ホール

出席者 理事長 嶋田 吉勝  
委員長 三角 雅則 校長  
外部委員 山本 稜一 一般社団法人福岡県測量設計コンサルタンツ協会  
前副会長  
株式会社アジア建設コンサルタント  
代表取締役前会長  
興梠 博文 一般社団法人福岡県測量設計コンサルタンツ協会  
理事  
九州測量設計株式会社 代表取締役  
叶 信彦 一般社団法人福岡県測量設計コンサルタンツ協会  
理事  
九州コンサルタント株式会社 代表取締役  
内部委員 川畑 英樹 工業専門課程部長・測量技術科主任  
松永 一樹 測量技術情報科主任・庶務主任  
吉住 和翁 学務部長・都市環境設計科主任  
金子 雅美 国際情報ビジネス科主任  
司 会 嶋田 吉敬 副校長  
記 録 瀬戸口慶文 事務長

## 会 次 第

### 1 理事長挨拶

ご多用な中の出席、感謝申し上げます。今期は50周年を記念する年である。2月にはブータン王立大学との調印を行った。現在東南アジアからの多数の留学生がおり、同様に日本で学び、日本で就職ができるサポートをしたい。そのための基金設立の予定があり、ご協力をお願いしたい。

DXなどデジタル化が進んでいる中で本校も変革が必要である。そのために皆さんの貴重なご意見を伺いたい。

## 2 開会挨拶

50周年を迎えるにあたり、これから先を見据え外部・内部の委員さんから様々なご意見をいただきたい。

5月11日には学生向けの50周年記念式典を開催できた。飯塚高校から吹奏楽部に演奏していただいた。本校は留学生に母国のダンスを披露していただいた。理事長からはスライドを使った国専の歴史をお話しいただいた。これからの1年1年を100周年に向け、卒業生が誇りを持つことができる学校にするべく、皆様からのご意見をいただきたい。

### ・50周年に関わる取り組みについて

ロゴマークのリニューアルを行った。スタッフ（測定の標尺）と盾をモチーフとしたものである。ブータン王立大学、インターキッズバイリンガルスクールとの姉妹校契約の締結を行った。ドローンの国家資格が取得できる団体となるため、DPCAと連携した。本校でドローン操縦に関する教育を行い、各業界で活躍できる人材の育成を行う。

## 3 経過報告

平成26年に文部科学省から職業実践専門課程として認可を受け、教育課程編成委員会を設置し開催してきた。昨年度は3年ぶりに年に2回の開催が出来た。教育課程編成委員会と、昨年8月に開催した学校関係者評価委員会での自己評価をまとめたものを2月に「自己評価等」として本校ホームページに掲載している。

## 4 各学科の現状

### (1) 在籍数・就職先の分類・各学科の教育活動

#### ア 在籍数

1年生	測量技術科	日本人	28名	留学生	0名	計	28名
	測量技術情報科	日本人	20名	留学生	5名	計	25名
	都市環境設計科	日本人	33名	留学生	0名	計	33名
	国際情報ビジネス科	日本人	0名	留学生	22名	計	22名
		小計	81名		27名		108名
2年生	測量技術情報科	日本人	5名	留学生	15名	計	20名
	都市環境設計科	日本人	27名	留学生	0名	計	27名
	国際情報ビジネス科	日本人	0名	留学生	41名	計	41名
		小計	32名		56名		88名
		合計	113名		83名		196名



## イ 就職先の分類

職業名	測量技術科	測量技術情報科	都市環境設計科	国際情報ビジネス科	合計
国家公務員	0名	0名	2名	0名	2名
地方公務員	0名	0名	7名	0名	7名
測量会社	11名	22名	3名	0名	36名
コンサルタント	7名	2名	2名	0名	11名
土木建設会社	1名	0名	7名	9名	17名
進学	0名	0名	0名	7名	7名
その他	1名	0名	3名	46名	50名
合計	20名	24名	24名	62名	130名

## ウ 各学科の教育活動

「職業実践専門課程」とは、専門学校のうち、企業等と密接に連携して、最新の実務の知識・技術・技能を身につけられる実践的な職業教育に取り組む学科を文部科学大臣が認定する課程をいう。

令和4年度は全国で66校87学科が新規に認定され、平成25年当初からの認定数を合計すると、全国で1093校3165学科となっている。認定された学科を分野別にみると、工業分野が1299学科中673学科(51.8%)となっており、他分野と比較しても工業分野における認定状況が依然として多い状況が続いている。

本校においては、企業等と連携をさらに深め、さらなる教育内容の充実を図り、学生及び企業が希望する人材を育むよう努力していく。

## (2) 各学科の昨年度の実績及び本年度の予定(計画)

### (1) 測量技術科

#### ア 令和4年度

入学21名 卒業20名  
就職20名 就職11名 復職9名  
国家資格取得 測量士2名 測量士補18名

#### イ 令和5年度

入学28名(高卒9名・復職者13名(高卒1名・大卒1名含))  
長期高度人材育成コース訓練生2名  
年齢層18～55歳

#### ウ ICT関連科目(PC・電子黒板等使用)

GNS測量実習(村里)・水準測量実習(松永)・写真測量実習(村里)  
情報処理実習(村里)・CAD演習(佐竹)・地理情報システム(村里)

#### エ 企業連携(前年同様継続実施)

科目「応用測量」：有限会社国土調査事務所取締役会長 村田 嘉文 氏

科目「CAD演習」：メディア工房代表 佐竹 一生 氏

(2) 測量技術情報科【職業実践専門課程認定学科】

ア 令和4年度

1年生

入学20名 うち留学生15名（ネパール15名） 進級20名

2年生

進級24名 うち留学生19名（ネパール18名・インドネシア1名）

卒業24名（就職24名）

国家資格取得 測量士補24名

イ 令和5年度

1年生

入学25名 うち留学生5名（ネパール5名）

2年生

進級20名 うち留学生15名（ネパール15名）

ウ ICT関連科目（PC・電子黒板等使用）

GNS測量実習（村里）・水準測量実習（松永）・写真測量実習（村里）

情報処理実習（村里）・CAD演習（佐竹）・IT演習（川副）

地理情報システム（吉住）

エ 企業連携（前年同様継続実施）

科目「応用測量」：有限会社 国土調査事務所取締役会長 村田 嘉文 氏

科目「CAD演習」：メディア工房代表 佐竹 一生 氏

科目「IT演習」：住環境デザイン研究所代表 川副 嘉久 氏

(3) 都市環境設計科【職業実践専門課程認定学科】

ア 令和4年度

1年生

入学29名

進級27名(退学2名)

2年生

進級24名：建設技術者コース11名、公務員コース13名

卒業24名(就職23名)

国家資格取得 測量士補24名

土木施工管理技術検定 合格者18名(合格率85.7%)

イ 令和5年度

1年生

入学33名

2年生

進級27名：建設技術者コース16名、公務員コース11名

ウ ICT関連科目(PC・電子黒板等使用)

GNS S測量実習(村里)・水準測量実習(松永)・写真測量実習(村里)  
情報処理実習(村里)・CAD演習(佐竹)・用地補償(柳沢・菊池・大黒・宮崎)  
地理情報システム(吉住)・CAD設計製図(吉住)

エ 企業連携科目

科目「応用測量」：有限会社国土調査事務所取締役会長 村田 嘉文 氏

科目「CAD 演習」：メディア工房代表 佐竹 一生 氏

科目「土質工学」：住環境デザイン研究所代表 川副 嘉久 氏

#### (4) 国際情報ビジネス科

ア 令和4年度

1年生

入学48名(ネパール39名・ベトナム8名・インドネシア1名)

進級41名(ネパール36名・ベトナム5名)

※退学2名・転科3名・留年2名

資格 ワープロ検定4級 46名受験うち15名合格

2年生

進級66名

(ネパール57名 ベトナム9名)

卒業62名 退学4名

就職51名(含む特定技能4名)・進学7名・家族ビザ4名

就職先：建設・飲食製造・外食・宿泊等

資格 サービス接遇検定3級 65名受験うち27名合格

イ 令和5年度

1年生

入学20名(ネパール17名・ベトナム2名・ミャンマー1名)

復学2名(ベトナム2名)

2年生

進級41名(ネパール36名・ベトナム5名)

ウ ICT関連科目(PC・電子黒板等使用)

コンピューター基礎(佐竹)・ビジネス概論、建設情報ビジネス(三好)

CADデザイン(佐竹)・植栽学(岩熊)・ワークショップ(貞清)

ガーデンデザイン(岩熊)・日本文化(恒吉)

ビジネス日本語、ビジネスマナー、ビジネス検定(金子)

## 5 外部委員による質疑応答

(1) 災害対策委員会へ初めて5名の女性の参加があった。今後建設業界への女

性の進出がもっと増えてほしいと思っている、御校でも女性へ向けたアピールを行っているか。

学生募集の対象として、女子高や商業高校への訪問を増やしている。また、ソクジョの会を本校でも立ち上げ、今回の50周年記念誌にてアピールしている。ドローンに興味を持つ女子学生も増えてきており、測量技術科では今期4名の女子学生の入学があった。女子生徒が増えたこともあり女子トイレを広く改装し大変好評である。なお、昨年から女性教員を採用し、女子学生とのコミュニケーションが以前より良くなり、教室の雰囲気も明るくなった。

- (2) 3D スキャナーや高度なGNSS 測量ができる機器が出てきており、今後こういうものが増えてくるだろう。学校に取り入れているか。

現在法の整備がなされていないこと、養成施設としての必要な設備に入っていないことなどによりまだ取り入れていないが、夏期講習として、都市環境設計科で希望する学生を対象に5日間の3Dドローンの講習会を行った。

- (3) 公共事業の受注減少、各市町村による子供のための手当が手厚くなっている等変化を感じている。そんな中、御校では日本人学生の入学が増えている。その要因はなにか。また、学生が増えることでキャパシティの問題はないか？

高校で地理総合が必修になったことも影響があるのではないか。また、学生募集にて本校をしっかりと理解していただいたことでひとつの高校から複数の学生に入学していただくケースも増えた。

また、企画広報部の募集活動が確立されてきていることが非常に大きい。SNSを利用した新しい広報も非常に効果が出ている。キャパシティについては、貸していた隣の校舎を令和6年度から本校校舎として利用するため問題ない。

## 6 次回委員会開催連絡

令和5年12月20日位で第2回教育課程編成委員会を開催予定

## 7 閉会

## 令和5年度第2回教育課程編成委員会議事録

開催日時 令和5年12月20日水曜日 15時から16時45分まで

会場 学校法人嶋田学園福岡国土建設専門学校 多目的ホール

出席者 委員長 谷口 茂敏 校長  
外部委員 山本 稜一 一般社団法人福岡県測量設計コンサルタンツ協会  
前副会長  
株式会社アジア建設コンサルタント  
代表取締役前会長  
興梠 博文 一般社団法人福岡県測量設計コンサルタンツ協会  
理事  
九州測量設計株式会社 代表取締役  
叶 信彦 一般社団法人福岡県測量設計コンサルタンツ協会  
理事  
九州コンサルタント株式会社 代表取締役  
内部委員 松永 一樹 測量技術情報科主任・庶務主任  
吉住 和翁 学務部長・都市環境設計科主任  
金子 雅美 国際情報ビジネス科主任  
司 会 嶋田 吉敬 副校長  
記 録 瀬戸口慶文 事務長

### 会次第

#### 1 開会挨拶

年末のお忙しい中ご足労いただきお礼を申し上げます。本校は創立50周年を迎え5月の学生対象記念式典、6月の同窓会、そして11月には記念講演と式典を外部の方もお招きし開催することが出来た。

関係各位の皆様への感謝とともに、50周年を更なる発展の機会ととらえ時代とともに変わるニーズの変化に対応するべく学校運営を行う所存である。

今年度はドローンのライセンスセンターとなり校内で資格取得の講座を行った。また、ブータン王立大学ジグメナムゲル工科大学との学術交流協定を結んだことに合わせ来年1名本校日本語学科に入学予定であり、現在募っている寄付をその奨学金のために利用させて頂き、今後も海外の優秀な学生を測量設計業界への人材輩出に努めていく。

そのためにも、皆様からのご意見をいただきたい。

## 2 経過報告

### (1) 令和5年度第1回教育課程編成委員会まとめ

平成26年に文部科学省から職業実践専門課程として認可を受け、教育課程編成委員会を設置し開催してきた。5月に行った第1回教育課程編成委員会と、8月に開催した学校関係者評価委員会での自己評価をまとめたものを2月に「自己評価等」として本校ホームページに掲載する。

委員会では、測量建設業界への女性進出や3Dスキャナーや高度なGNSS測量ができる機器等の学校への導入について意見交換がなされた

### (2) 令和5年度学校関係者評価委員会まとめ

本校多目的ホールにて令和5年8月17日に実施した。

学校関係者評価のまとめとして、全会一致で「ほぼ適切」とした。

## 3 工業専門課程・各学科の報告

### (1) 測量技術科（報告者：吉住）

1年課程（在籍数28名）

- ・8月21日から11月6日（のべ53日）の実習期間では、「TSによる基準点測量」、「GNSSによる基準点測量」、「水準測量」、「応用測量」、「写真測量」、「地形測量」、「地図編集」、「情報処理」、「UAV実習」を実施した。
- ・前期試験については、成績・欠席ともにおおむね良好であった。
- ・就職活動については、就職希望者15名中14名が内定している。  
28名中27名内定（うち復職者13名含む）

### (2) 測量技術情報科（報告者：松永）

2年課程

【1年生】（在籍数22名：日本人17名・留学生5名）

- ・8月21日から11月6日までの実習期間では、「TSによる基準点測量」、「写真測量」、「地形測量」、「情報処理」を実施した。
- ・資格試験（日本語能力試験）  
7月2日受験済（N2 1名、N3 1名合格）  
12月3日受験済（結果待ち）

【2年生】（在籍数19名：日本人4名・留学生15名）

- ・8月21日から11月6日までの実習期間では、「GNSSによる基準点測量」、「水準測量」、「地図編集」、「応用測量」、「IT演習」、「UAV実習」を実施した。
- ・企業連携科目である「CAD演習」、「IT演習」は終了、「応用測量」は年度末まで実施。
- ・就職進路活動については、11名（日本人2名・留学生9名）が内定している。  
未定者は日本人2名 留学生6名（就職希望）である。
- ・資格試験（日本語能力試験）  
7月2日受験済（合格者なし）  
12月3日受験済（結果待ち）

(3) 都市環境設計科 (報告者: 吉住)

2年課程

8月21日から11月6日までの実習期間は、測量技術情報科と同様の内容である。

【1年生】(在籍数31名)

- ・12月18日に2年次コース選択に向け、公務員コースと建設技術者コースについて説明会を実施した。来年1月にコース選択に係る面談を実施する。

【2年生】(在籍数26名)

- ・公務員コース11名

公務員最終合格10ヶ所(1次試験合格率54.9%)

内定者8名(公務員8名)九州運輸局、鹿児島県庁、熊本県庁、大阪市役所、  
太宰府市役所、中津市役所、香春町役場、(独)水資源機構  
未定者3名(公務員受験中1名、民間希望2名)

- ・建設技術者コース15名

8月に二等無人航空機操縦技士の実技講習を実施(7名)。

内定者12名(建設7名、建設コンサル1名、設計5名)未定者は3名

- ・11月28日に現場見学会を実施

福岡市再開発促進事業「天神ビッグバン」プロジェクトの一つである工事現場を見学

- ・資格試験 2級土木施工管理技術検定 10月22日受験済(合否発表:2月7日)  
技術士第一次試験 11月26日受験済(合否発表:2月下旬)

(4) 国際情報ビジネス科 (報告者: 金子)

2年課程

【1年生】(在籍数22名)

- ・出身国:ネパール 17名 ベトナム 4名 ミャンマー 1名
- ・資格試験(日本語能力試験) 7月 2日受験(N3 1名,N4 4名合格)  
12月 3日受験(結果待ち)  
(日本語ワープロ検定)令和6年2月19日受験予定

【2年生】(在籍数41名)

- ・出身国:ネパール 36名 ベトナム 5名
- ・資格試験(日本語能力試験) 7月 2日受験(N2 1名,N3 9名,N4 1名合格)  
12月 3日受験(結果待ち)  
(ワープロ検定4級) 2月19日受験(14名合格)  
(サビズ接遇検定3級) 11月 5日受験(10名合格)

- ・進路

就職希望38名(内定19名) 進学希望1名 家族ビザ申請予定 2名  
進学決定1名:国際アニメーション専門学校 アニメーション総合科 1名

#### 4 外部委員による質疑応答

- (1) 2級土木施工管理技術検定、技術士第一次試験の受験人数は？

2級土木施工管理技術検定 24名  
技術士第一次試験 2名

- (2) UAVの試験を行ったのはカリキュラム内か別か。

カリキュラム内で行った。

今年は都市環境設計科の設計技術者コースの学生を対象としたが、来年3月からはそれ以外の学生も対象で計画している。

- (3) 就職先が決まっています入学する、“社会人入学”の方がほとんどなのか？高卒での入学もあるのか。

コースによって大きく異なり、1年コースの測量技術科の半数は就職先が決まっている方。全体でみると6割は高校の新卒で入学される方である。

- (4) 測量設計技術者による、技術士試験対策の勉強会を年に6回行っているが、国専で開催することは可能か？または、国専で対策の授業は行っているか？例年10名程度が勉強会に参加している

国専では授業終了後に希望者に対して個別に対策指導を行っている。

授業時間外のことであるため、受講を希望される社会人の方のご都合と講師の都合、講座の内容に等ついて打合せが必要である。

#### 5 次回委員会開催連絡

令和6年5月15日（水）予定

#### 6 閉会



# 収支状況(令和4年度)

福岡国土建設専門学校 (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	224,075	人件費	103,058
手数料	3,389	教育研究・管理経費	48,690
寄付金	0	その他の支出	27,733
補助金	4,485		
附属事業収入	1,291		
その他の収入	980		
収入合計	234,220	支出合計	179,481